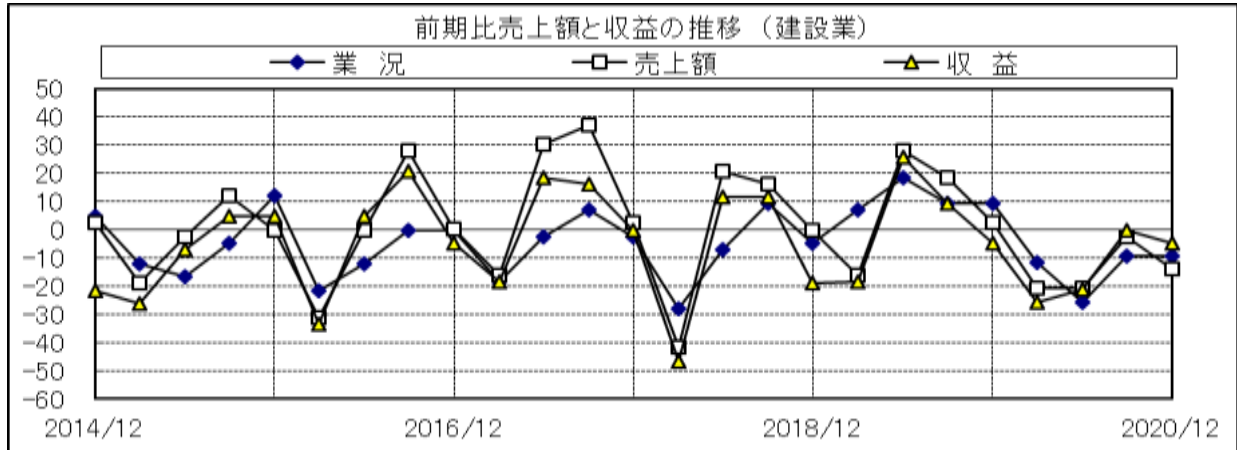


# 建設業 43 企業 (回答率 100.00%) の調査結果です

## □ 景 況

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
業 況	-25.5	-9.3	-9.4	-23.3
売上額	-20.9	-2.3	-14.0	-44.2
収 益	-21.0	0.0	-4.6	-34.9

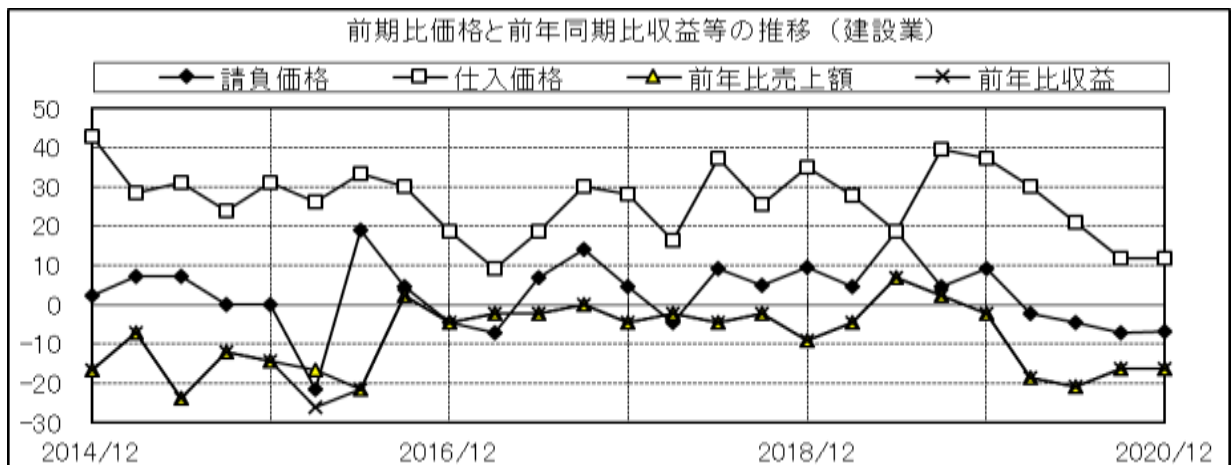
今期の業況判断 D. I. は  $\Delta 9.4$  で、前期比 0.1 ポイント下降、前年 (9.3) 比では 18.7 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、浦河が最も高く、静内・様似が同率、広尾、えりもと続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、 $\Delta 14.0$  で、前期比 11.7 ポイントの下降となった。収益判断 D. I. は  $\Delta 4.6$  で、前期比 4.6 ポイント下降した。



## □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
請負価格	-4.7	-7.0	-6.9	-9.4
仕入価格	21.0	11.7	11.7	7.0

請負価格判断 D. I. は  $\Delta 6.9$  で、前期比 0.1 ポイント上昇、前年 (9.3) 比 16.2 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 11.7 で、前期と同水準、前年 (37.3) 比 25.6 ポイントの下降となった。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期実績	1~3 月 期見通し
残業時間	-9.4	-9.4	16.3	-11.6
人手状況	-16.3	-21.0	-37.2	-20.9

残業時間判断 D. I. は 16.3 で、前期比 25.7 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は  $\Delta 37.2$  で、前期比 16.2 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

## □ 設備投資の動き

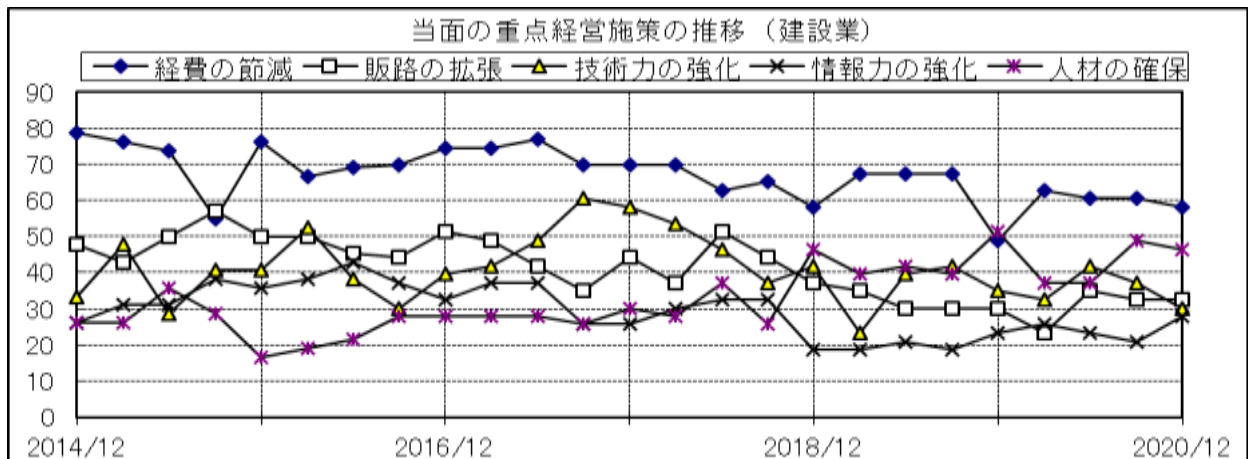
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 4.7$ で、前期(4.7)比9.4ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は14.0で、前期(23.3)比9.3ポイント下降した。設備投資は、前期10社に対し、6社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「人手不足」が15.7%と最も多く、次に「同業者競争」、「利幅縮小」が14.7%、「売上停滞減少」12.7%、「材料価格上昇」・「下請確保難」8.8%、「地場産業衰退」6.9%、「大手企業競争」・「人件費増加」4.9%、「技術力不足」3.9%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」58.1%が最も多く、次に「人材確保」46.5%、「販路拡大」32.6%、「技術力強化」30.2%、「情報力強化」27.9%、「労働条件改善」9.3%、「教育訓練強化」7.0%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 23.3$ と、今期比13.9ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 44.2$ と、今期比30.2ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 34.9$ と、今期比30.3ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は $\Delta 9.4$ と、今期比2.5ポイントの下降を見通している。

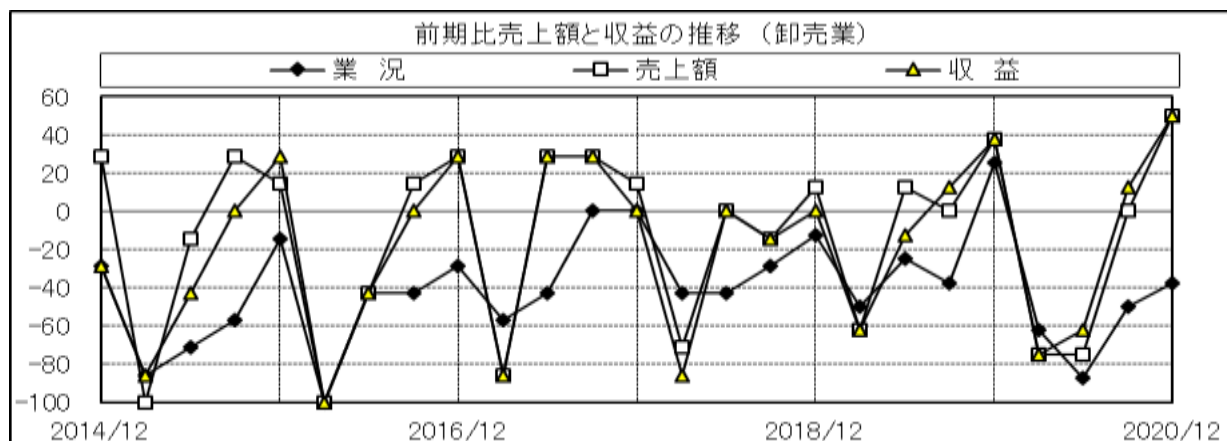
予想仕入価格判断D. I. は7.0と、今期比4.7ポイントの下降を見通している。

## 卸売業 8企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業況	-87.5	-50.0	-37.5	-50.0
売上額	-75.0	0.0	50.0	-75.0
収益	-62.5	12.5	50.0	-62.5

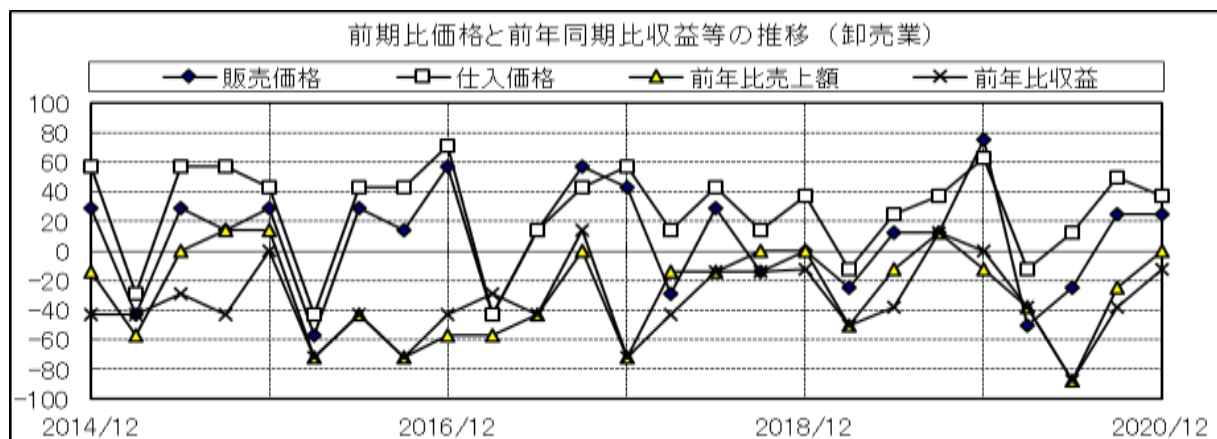
今期の業況判断 D. I. は△37.5 で、前期比 12.5 ポイント上昇、前年(25.0)比 62.5 ポイント下降した。地区別の水準は、浦河は同水準、静内は上昇、様似は下降した。売上額判断 D. I. は 50.0 で、前期比 50.0 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は 50.0 で、前期比 37.5 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	-25.0	25.0	25.0	-12.5
仕入価格	12.5	50.0	37.5	0.0

販売価格判断 D. I. は 25.0 で、前期と同水準、前年(75.0)比 50.0 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 37.5 で、前期比 12.5 ポイント下降、前年(62.5)比 25.0 ポイント下降した。業種別では、水産業は販売・仕入価格ともに下降、食品業は販売・仕入価格ともに上昇した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-12.5	0.0	0.0	0.0
人手状況	12.5	0.0	0.0	0.0

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準で、残業時間に変動はなかった。

人手過不足判断 D. I. は 0.0 で前期と同水準で、人手不足感に変動はなかった。

## □ 設備投資の動き

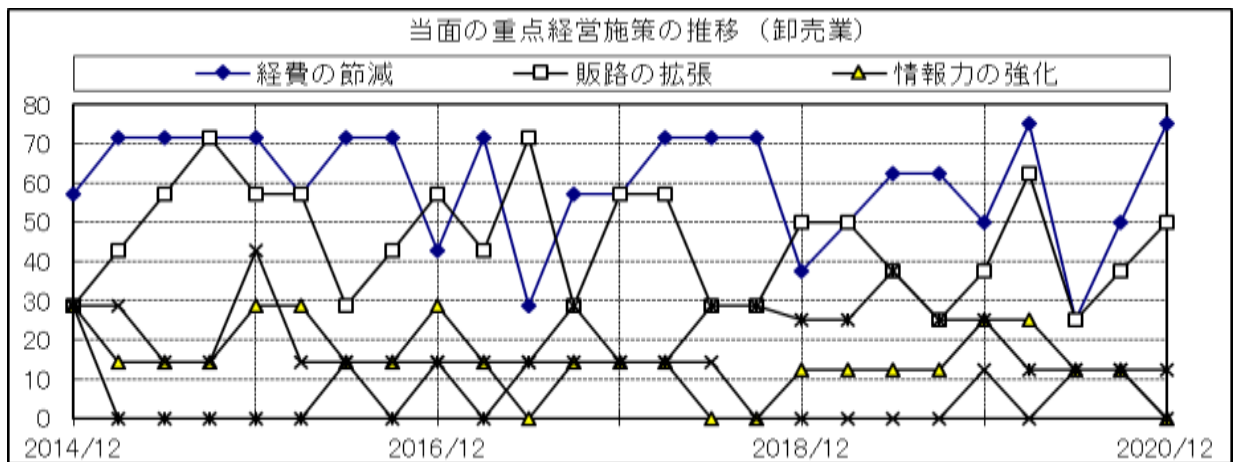
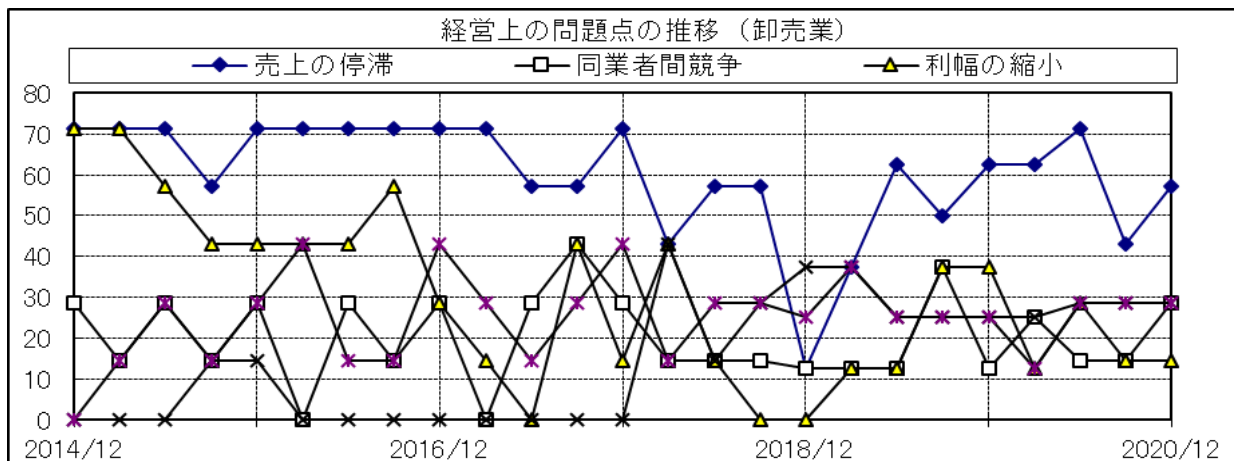
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 12.5$ で、前期と同水準となった。

設備実施企業割合は12.5で、前期と同水準となった。設備投資は、前期1社に対し、1社の実施となった。来期の設備投資予定は1社となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が57.1%と最も多く、次に「同業者競合」・「商品の陳腐化」・「取引先減少」・「天候不順」・「地場産業衰退」が28.6%、「利幅縮小」・「店舗老朽化」・「地価高騰」・「為替レート変動」が14.3%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が75.0%と最も多く、次に「販路拡大」50.0%、「品揃え充実」25.0%、「新事業開始」・「流通経路見直し」・「取引先を支援」・「輸入品取扱強化」が12.5%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は50.0と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 75.0$ と、今期比125.0ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 62.5$ と、今期比112.5ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は $\Delta 12.5$ と、今期比37.5ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は0.0と、今期比37.5ポイントの下降を見通している。